

# 高齢者を取り巻く現状と 本市高齢者人口等の見込

宇都宮市保健福祉部高齢福祉課

# 1 高齢化の状況

# 1 高齢化の状況

## (1) 高齢化の状況

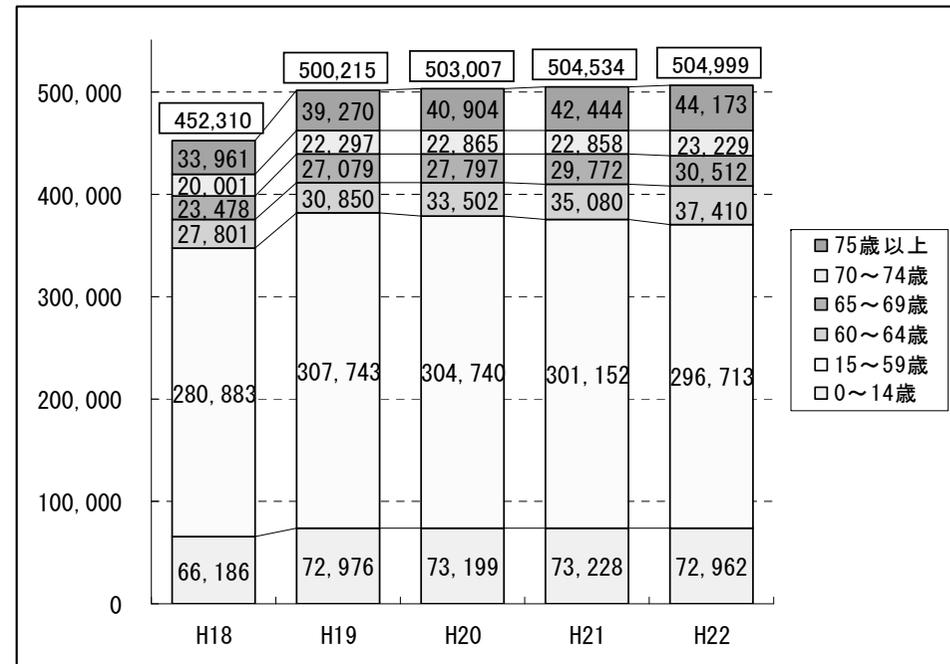
- ・本市の高齢化率は19.5%となっており，国(23.1%)や県(22.0%)より低くなっている。
- ・本市の総人口は毎年度増加しており，このうち60～64歳人口の増加率が高くなっている。
- ・本市の高齢化率は，毎年度0.5%程度増加している。

○ 総人口と高齢者人口・高齢化率の比較

	国 H22. 10. 1現在	栃木県 H22. 10. 1現在	宇都宮市 H22. 9. 30現在
総人口	12,806万人	2,001,299人	506,788人
高齢者人口	2,944万人	440,168人	98,809人
65歳～74歳	1,528万人	223,523人	53,880人
74歳～	1,430万人	216,645人	44,929人
高齢化率	23.1%	22.0%	19.5%
65歳～74歳	11.9%	11.2%	10.6%
74歳～	11.2%	10.8%	8.9%

○ 本市の年齢区分別人口推計

[単位：人]

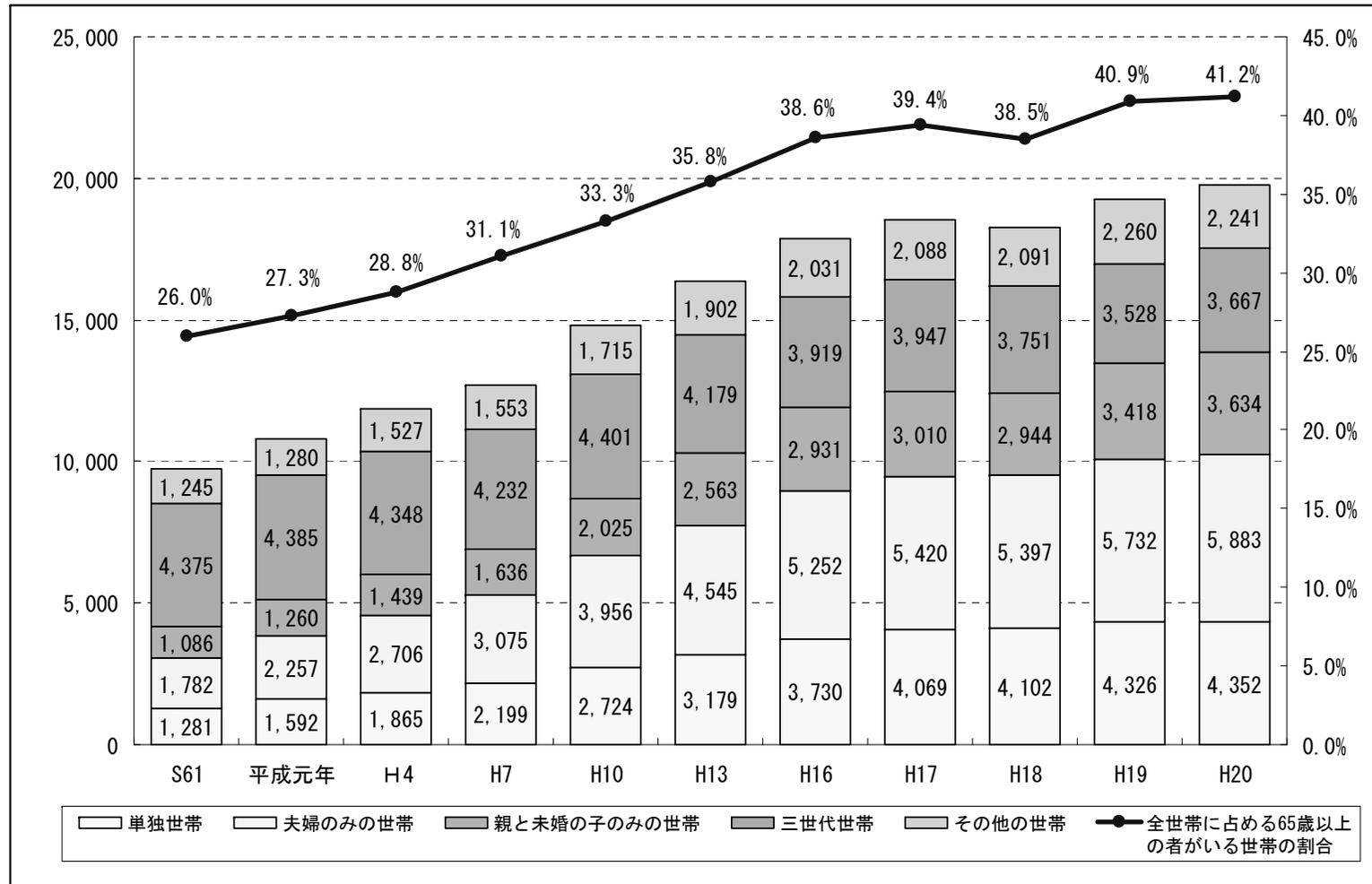


出典：H23高齢社会白書，栃木県年齢別人口調査結果，市統計データバンク 出典：市統計データバンク

# 1 高齢化の状況

## (2) 65歳以上高齢者のいる世帯構造の変化①（全国の状況）

○ 65歳以上の者のいる世帯数及び全世帯に占める65歳以上の者がいる世帯の割合



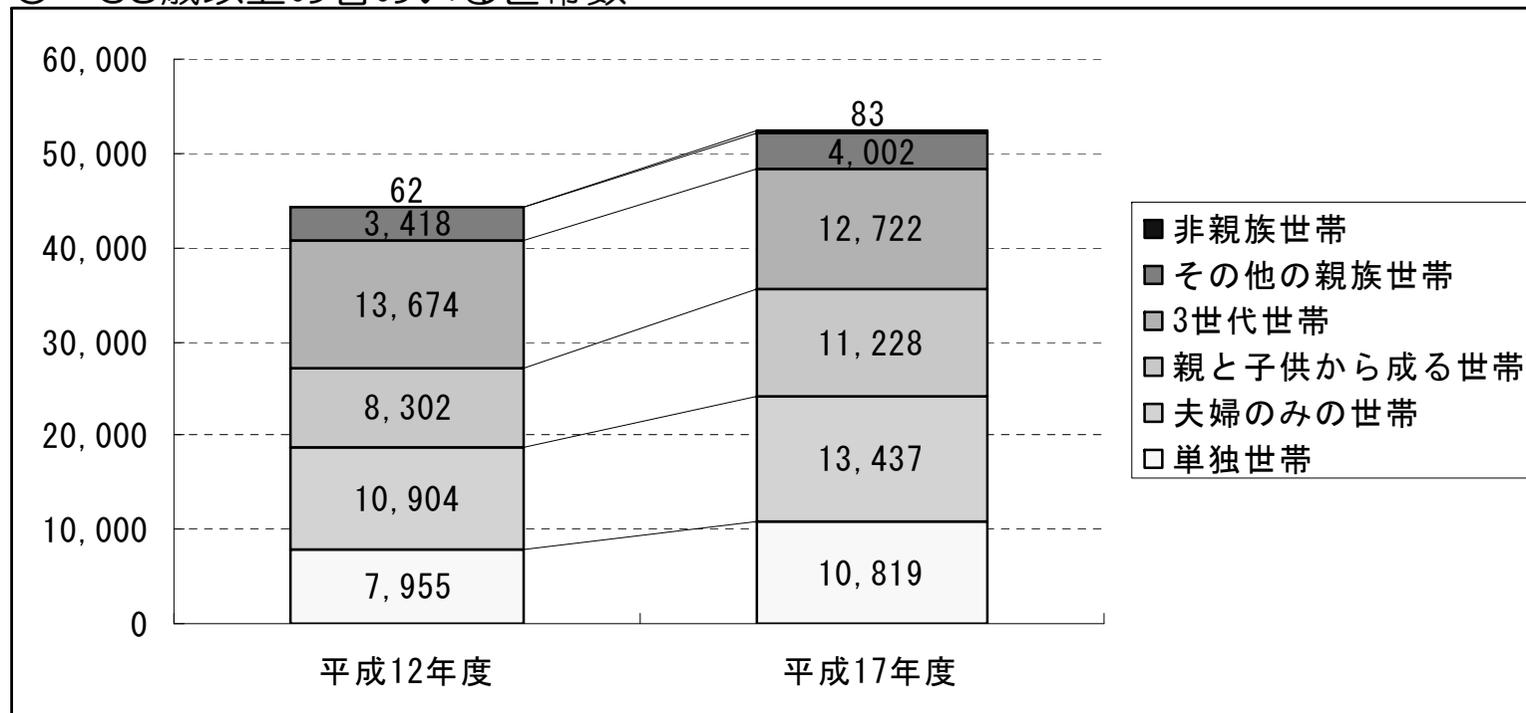
出典：平成22年度版高齢社会白書(内閣府)

# 1 高齢化の状況

## (3) 65歳以上高齢者のいる世帯構造の変化②（本市の状況）

- ・全国では、高齢者のいる世帯は全体の4割、そのうち「単独」・「夫婦のみ」世帯が過半数を占めている。
- ・本市では、高齢者のいる世帯のうち、「単独」・「親と子供から成る世帯」が増加傾向にある。

○ 65歳以上の者のいる世帯数



出典：市統計データバンク 国勢調査

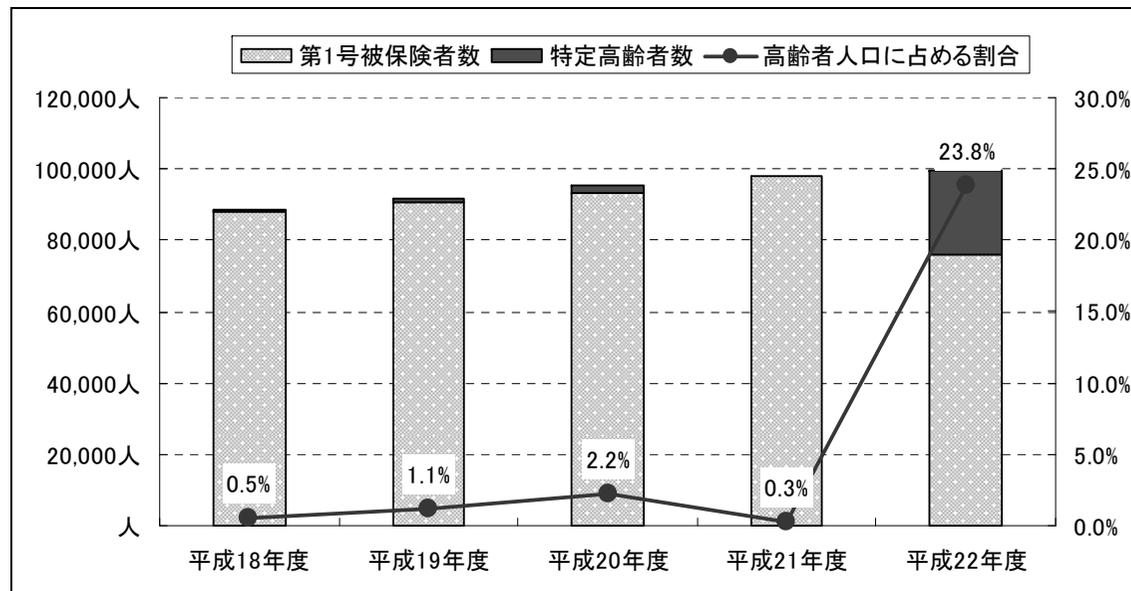
# 1 高齢化の状況

## (4) 特定高齢者の推移（本市）

単位 人, %

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
第1号被保険者数	88,753人	91,664人	95,174人	97,990人	99,653人
特定高齢者数	473人	1,047人	2,116人	249人	23,743人
高齢者人口に占める割合	0.5%	1.1%	2.2%	0.3%	23.8%

\*年度末実績



特定高齢者については、特定高齢者の決定方法の変更に伴い、平成22年度については目標を大きく上回っている。

平成22年8月6日付、老発0806第1号により「特定高齢者」から、「二次予防事業の対象者」に名称変更

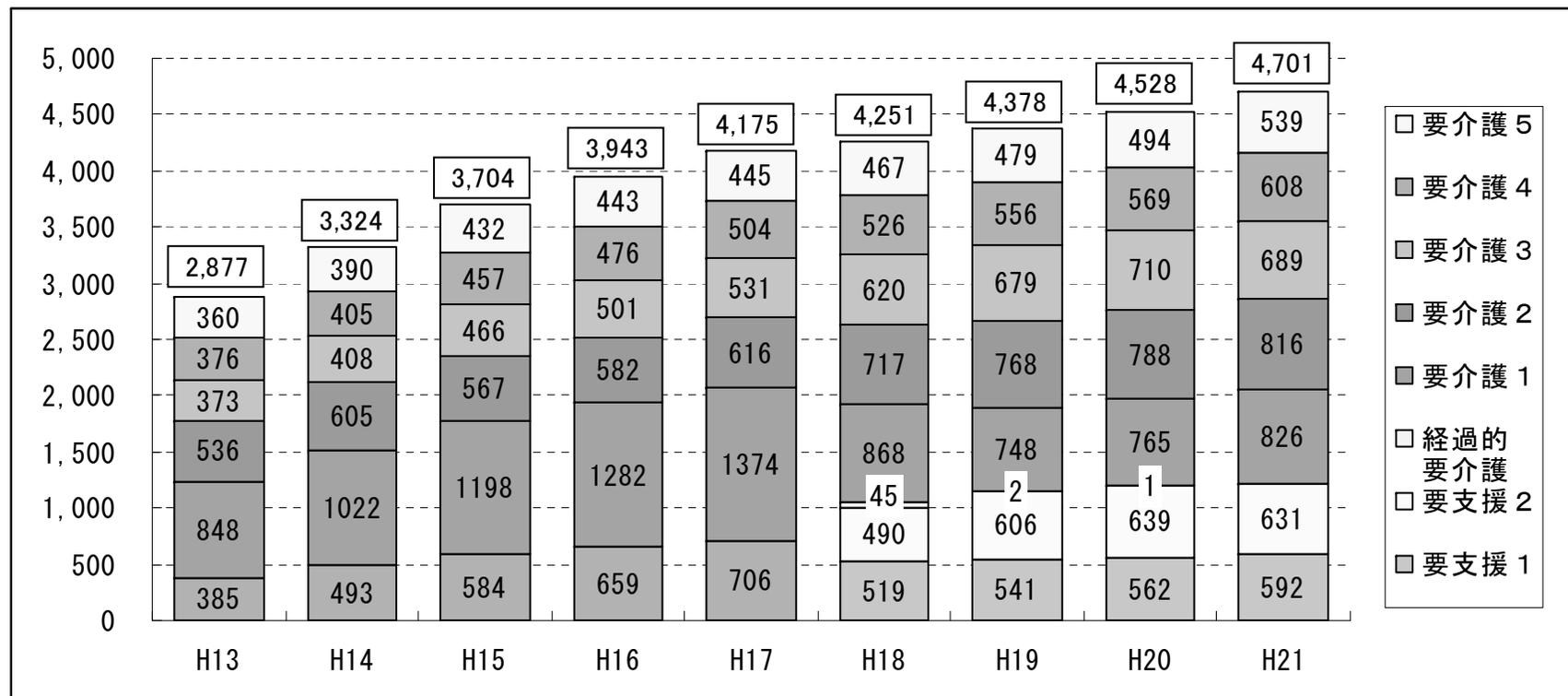
# 1 高齢化の状況

## (5) 第1号被保険者(65歳以上)の要介護度別認定者数の推移①(全国の状況)

介護保険制度における要介護者又は要支援者と認定された者のうち、65歳以上の者の数についてみると、平成21年度末で470.1万人となっており、平成13年度末から182.4万人増加している。

### ○ 第1号被保険者(65歳以上)の要介護度別認定者数の推移

(単位：千人)



出典：平成22年版高齢社会白書、介護保険事業状況報告（年報）

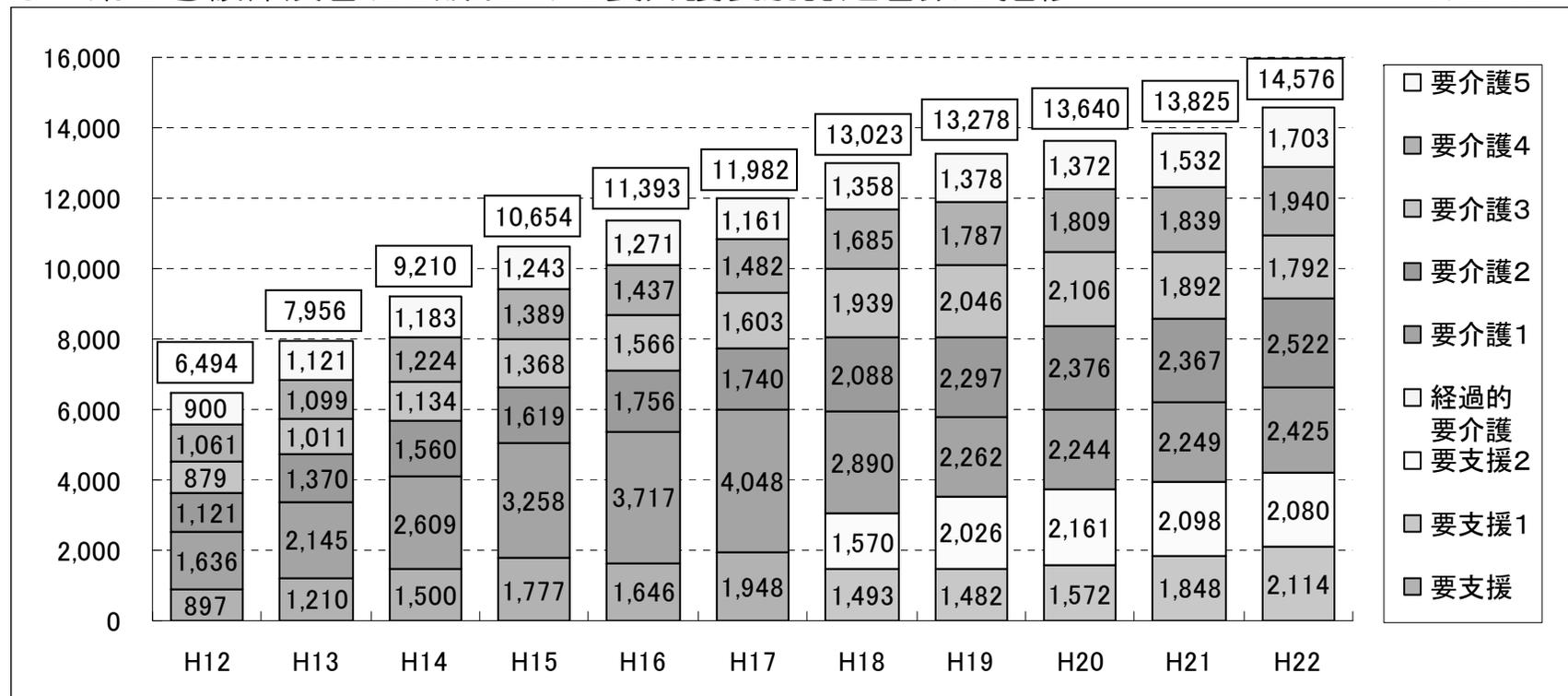
# 1 高齢化の状況

## (6) 第1号被保険者(65歳以上)の要介護度別認定者数の推移②(本市の状況)

介護保険制度における要介護者又は要支援者と認定された者のうち、65歳以上の者の数についてみると、平成22年度末で14,576人となっており、平成12年度末から8,082人(124.5%)増加している。

### ○ 第1号被保険者(65歳以上)の要介護度別認定者数の推移

(単位：人)

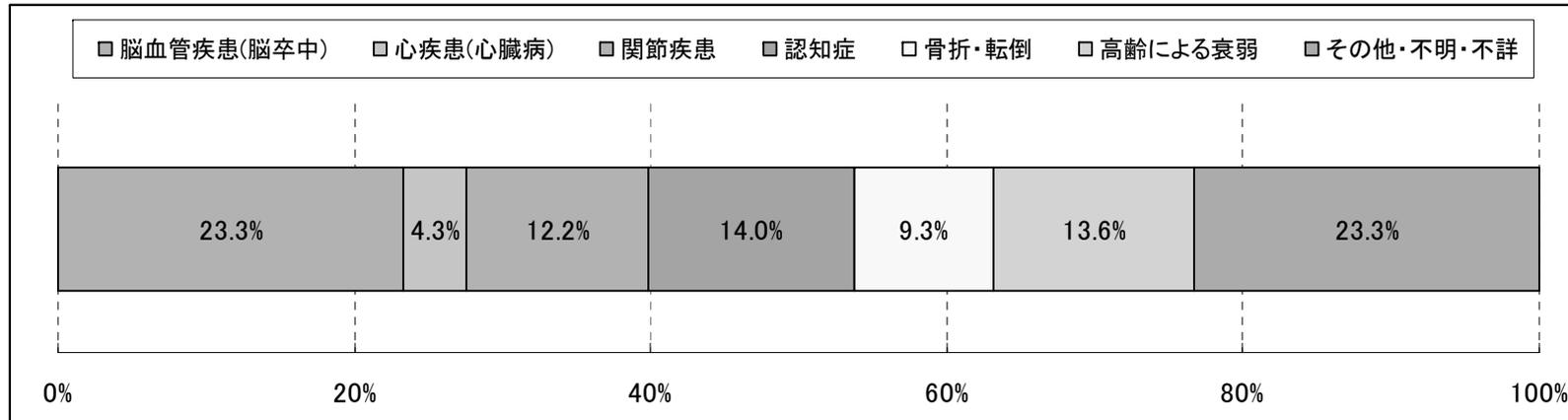


# 1 高齢化の状況

## (7) 介護・介助が必要になった主な原因

### ○ 介護・介助が必要になった主な原因(全国)

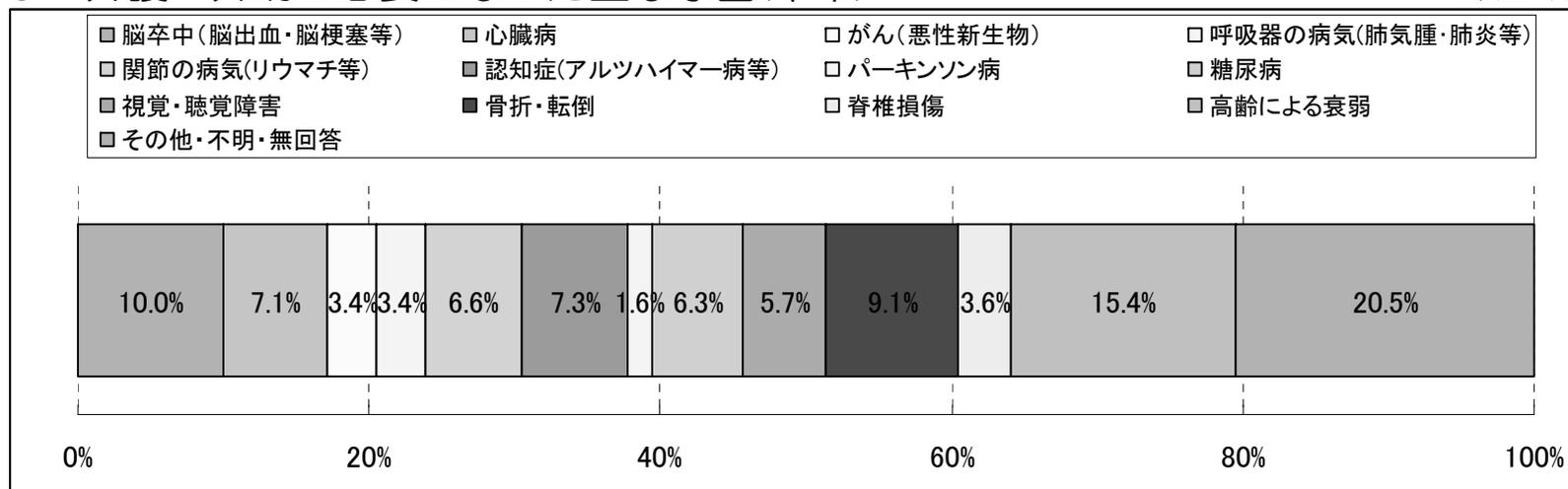
(単位：%)



出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成19年)

### ○ 介護・介助が必要になった主な原因(本市)

(単位：%)



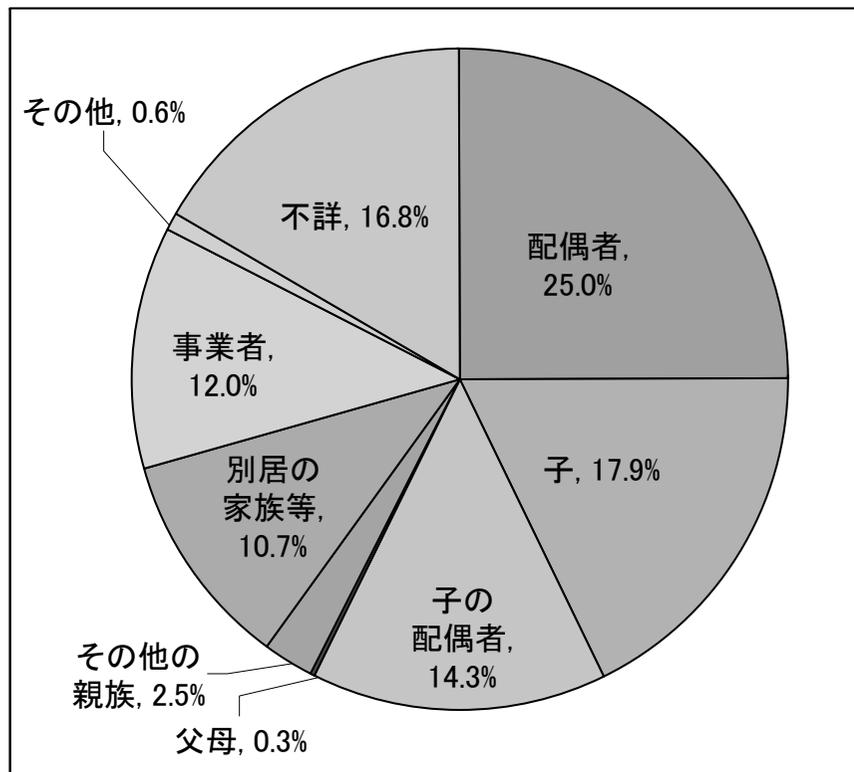
出典：宇都宮市「高齢者実態調査」〔平成22年度〕

# 1 高齢化の状況

## (8) 主な介護・介助者

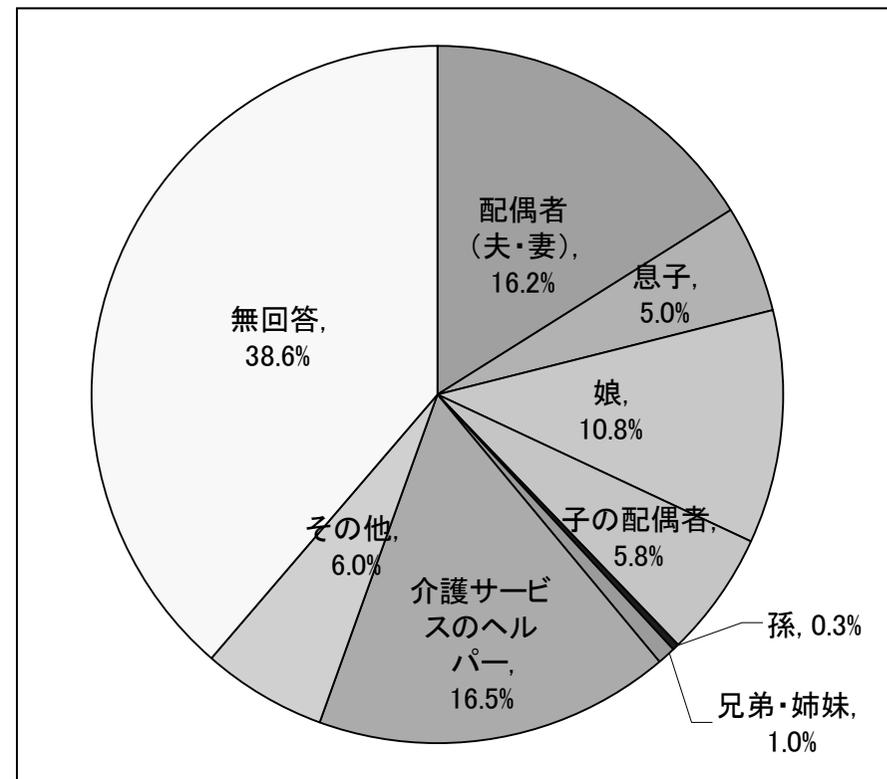
主な介護・介助者の続柄について、全国・本市ともに「配偶者」，「子」（息子・娘），の順になっている。また，本市調査結果のうち，介護サービスのヘルパーとの回答は16.5%となっており，国の調査結果(事業者)を4.5%上回る結果となっている。

○ 主な介護・介助者（全国）



出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成19年)

○ 主な介護・介助者（本市）

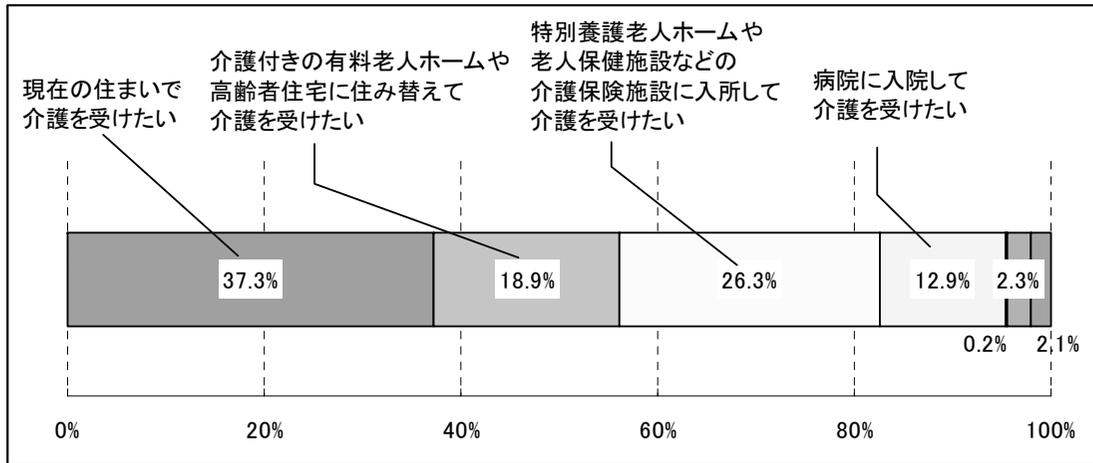


出典：宇都宮市「高齢者実態調査」〔平成22年度〕 9

# 1 高齢化の状況

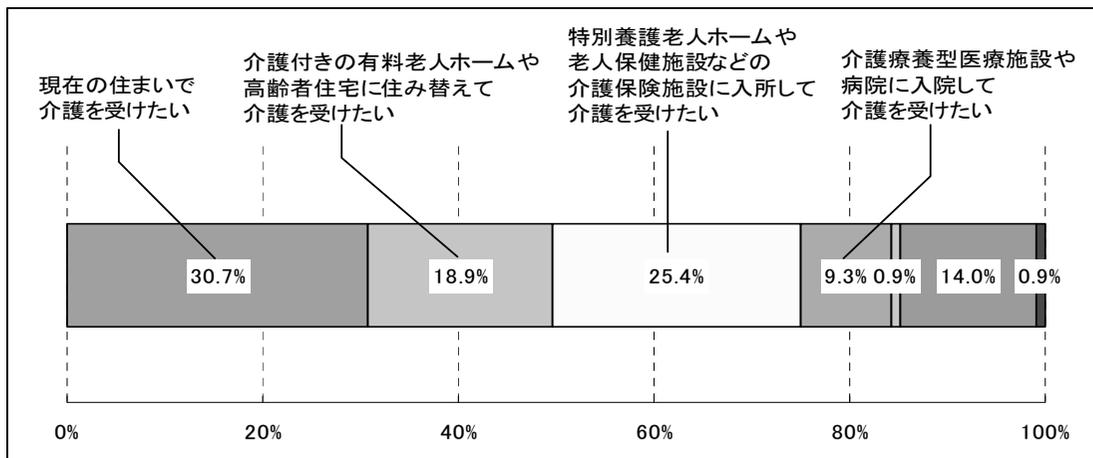
## (9) 自分自身が介護を受けたい場所

### ○ 全国の状況



出典：厚生労働省「介護保険制度に関する世論調査」〔平成22年〕

### ○ 本市の状況



出典：宇都宮市「若年者調査」〔平成23年度〕

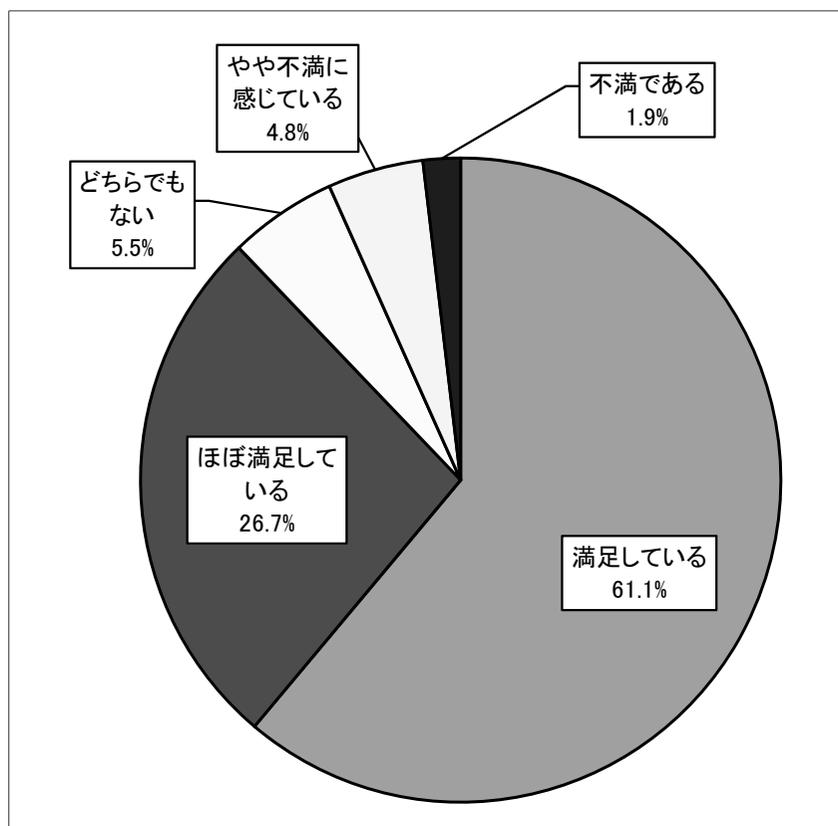
自分自身が介護を受けたい場所については、国・本市調査結果ともに「現在の住まいで介護を受けたい」という回答が最も多くなっている。

次いで、「特別養護老人ホーム等の介護保険施設」、「介護付き有料老人ホーム」の順となっている。

# 1 高齢化の状況

## (10) 介護サービス計画（ケアプラン）に対する満足度

介護サービスを現在利用している方を対象に調査した結果、介護サービス計画（ケアプラン）に対する満足度については、「満足している」（61.1%）との回答が多くなっており、「ほぼ満足している」（26.7%）との合計では87.8%となっている。



出典：宇都宮市「介護保険利用者実態調査」〔平成23年度〕

# 1 高齢化の状況

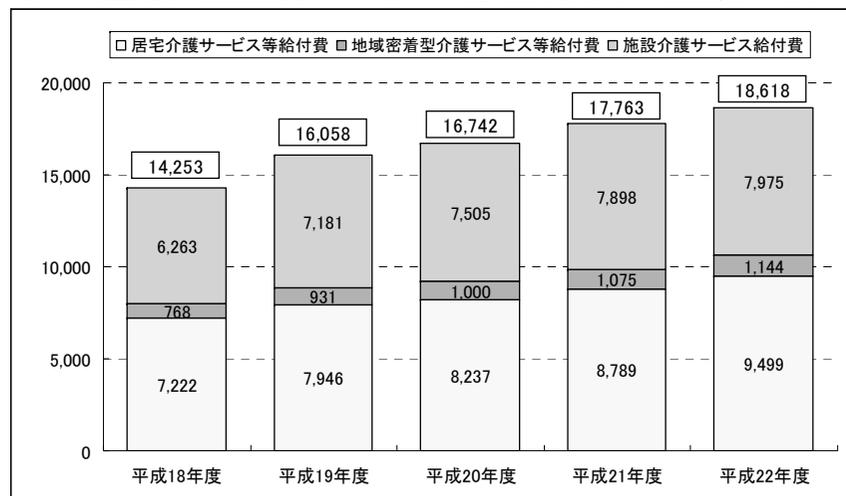
## (11) 介護給付費等事業費の推移（本市）

### ○ 介護給付費等事業費の推移

（単位：円）

種 別		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
標準給付費	居宅介護サービス等給付費	7,221,610	7,946,010	8,236,744	8,789,468	9,499,324
	地域密着型介護サービス等給付費	768,299	931,042	999,856	1,075,229	1,143,878
	施設介護サービス給付費	6,263,386	7,180,773	7,505,277	7,898,414	7,974,768
	そ の 他 給 付 費	685,619	772,372	834,648	904,799	1,006,622
市 町 村 特 別 給 付 費		74,199	83,445	92,777	97,264	100,244
地 域 支 援 事 業 費		510,612	485,422	669,031	656,107	693,166

### ○ 在宅・施設サービス等給付費の推移（単位：千円）



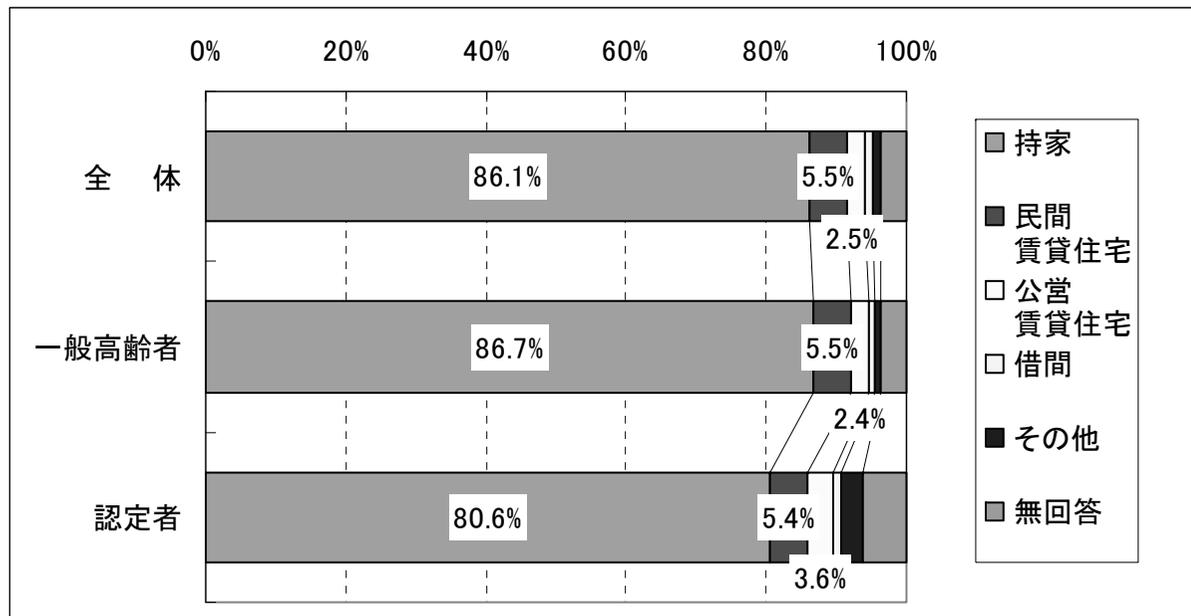
介護給付費等事業費については、平成20年度以降、対前年比で約5.5%の伸びとなっている。

また、保険給付費のうち、在宅サービス(地域密着型サービスを含)と施設サービスの割合は、在宅が55%、施設が45%と、在宅サービスが施設サービスを上回っている。

# 1 高齢化の状況

## (12) 高齢者の住まい

	持家	民間 賃貸住宅	公営 賃貸住宅	借間	その他	無回答
全 体	86.1%	5.5%	2.5%	0.9%	1.2%	3.8%
一般高齢者	86.7%	5.5%	2.4%	0.8%	1.0%	3.5%
認定者	80.6%	5.4%	3.6%	1.2%	3.0%	6.2%



平成22年度に実施した、高齢者実態調査の結果、高齢者の住まいについては「持ち家」、「民間賃貸住宅」の順となっている。

※ 一般高齢者  
65歳以上で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない市民

※ 認定者  
65歳以上で、介護保険の要支援1・2、要介護1・2の認定者

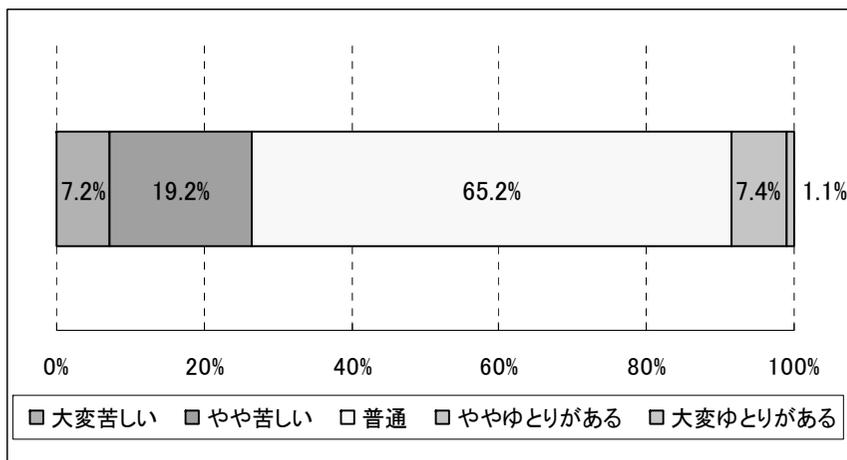
出典：宇都宮市「高齢者実態調査」〔平成22年度〕

# 1 高齢化の状況

## (13) 高齢者の暮らし向き

暮らし向きについてみると、全国では「苦しい」（「大変苦しい」と「やや苦しい」の計）と感じている者の割合は全体で26.4%となっているのに対し、本市では「苦しい」（「苦しい」と「やや苦しい」の計）と感じている者の割合は全体の56.6%となっており、全国の結果に比べ30.2%多くなっている。

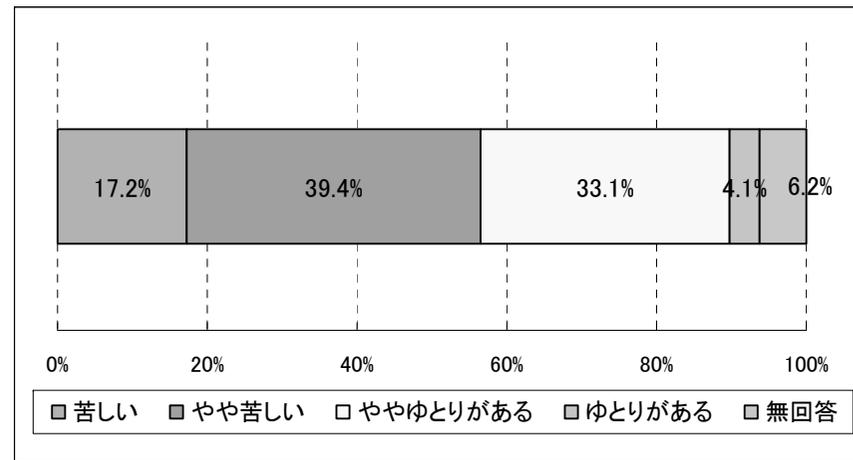
○ 現在の暮らし向きについて（全国）



出典：内閣府「生活実態に関する調査」(平成20年)

(注)調査対象は、全国60歳以上の男女

○ 現在の暮らし向きについて（本市）



出典：宇都宮市「高齢者実態調査」〔平成22年度〕

# 1 高齢化の状況

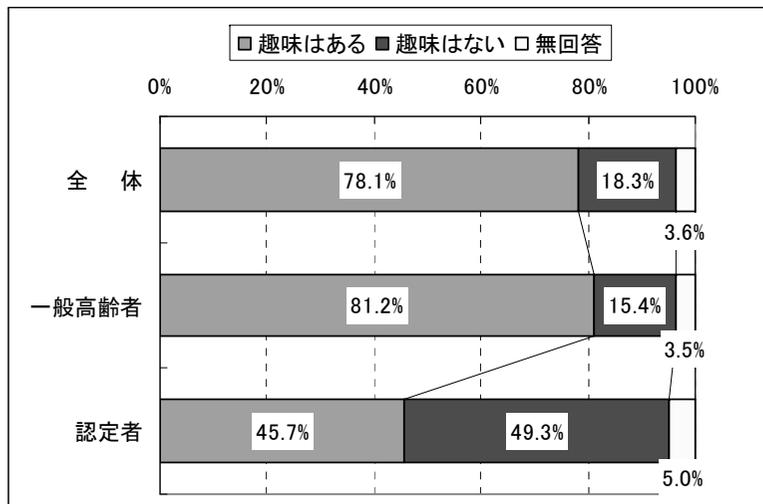
## (14) 高齢者の趣味・生きがい

高齢者の趣味については、一般高齢者は81.2%が「趣味はある」と回答しているのに対し、認定者については45.7%と、一般高齢者と比較すると35.5%低くなっている。

また、生きがいについては、一般高齢者は83.8%が「生きがいはある」と回答しているのに対し、認定者については50.5%と、一般高齢者と比較すると33.3%低くなっている。

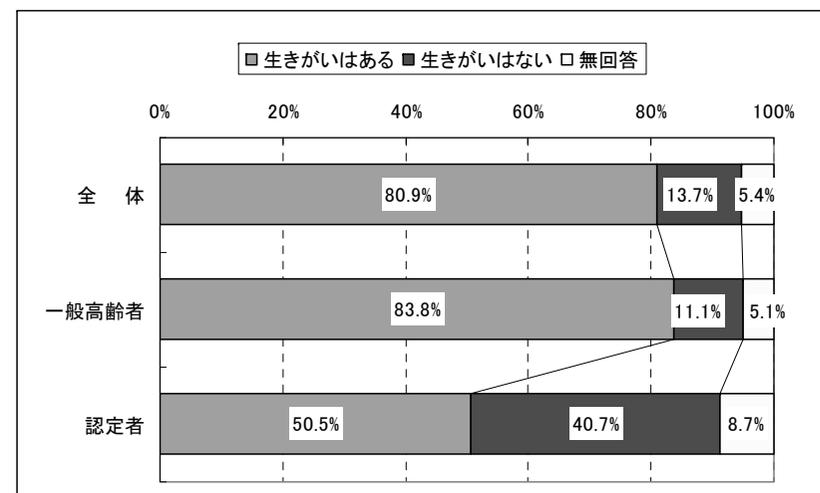
### ○ 趣味の有無

	趣味はある	趣味はない	無回答
全体	78.1%	18.3%	3.6%
一般高齢者	81.2%	15.4%	3.5%
認定者	45.7%	49.3%	5.0%



### ○ 生きがいの有無

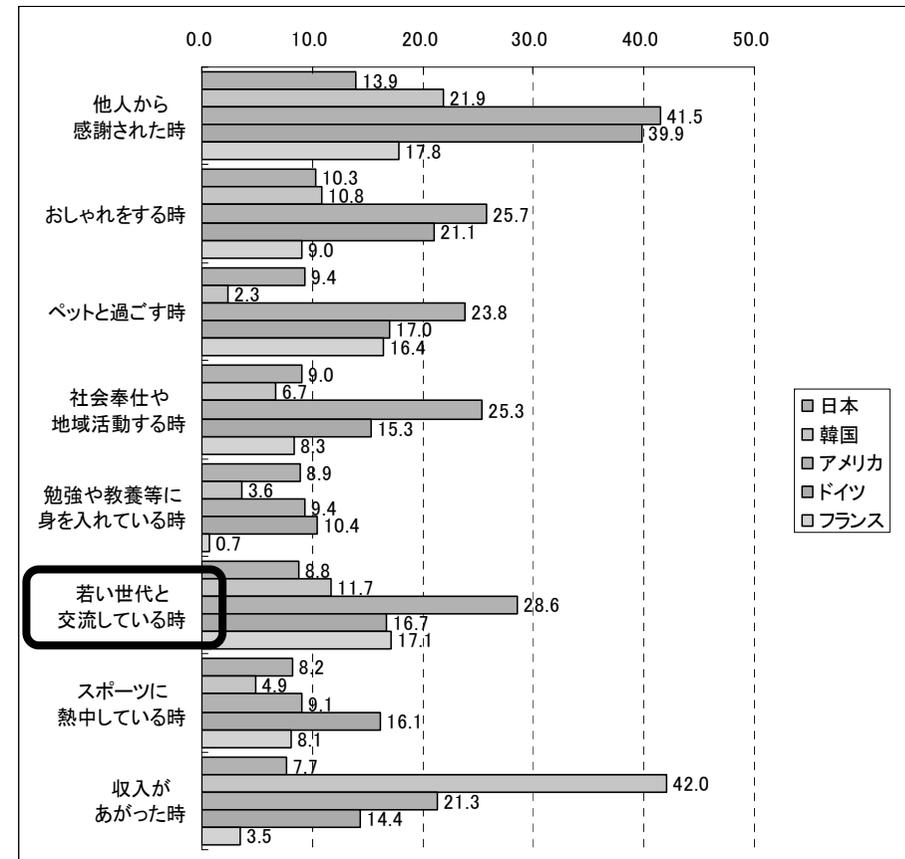
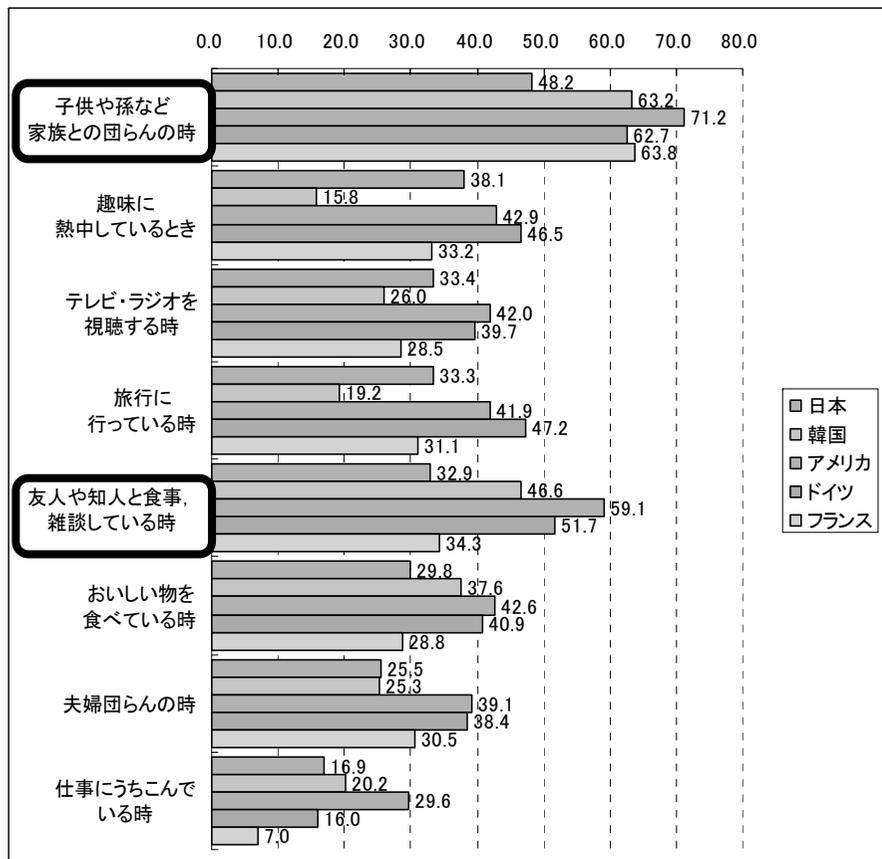
	生きがいはある	生きがいはない	無回答
全体	80.9%	13.7%	5.4%
一般高齢者	83.8%	11.1%	5.1%
認定者	50.5%	40.7%	8.7%



# 1 高齢化の状況

## (15) 高齢者の生きがい①（国別）

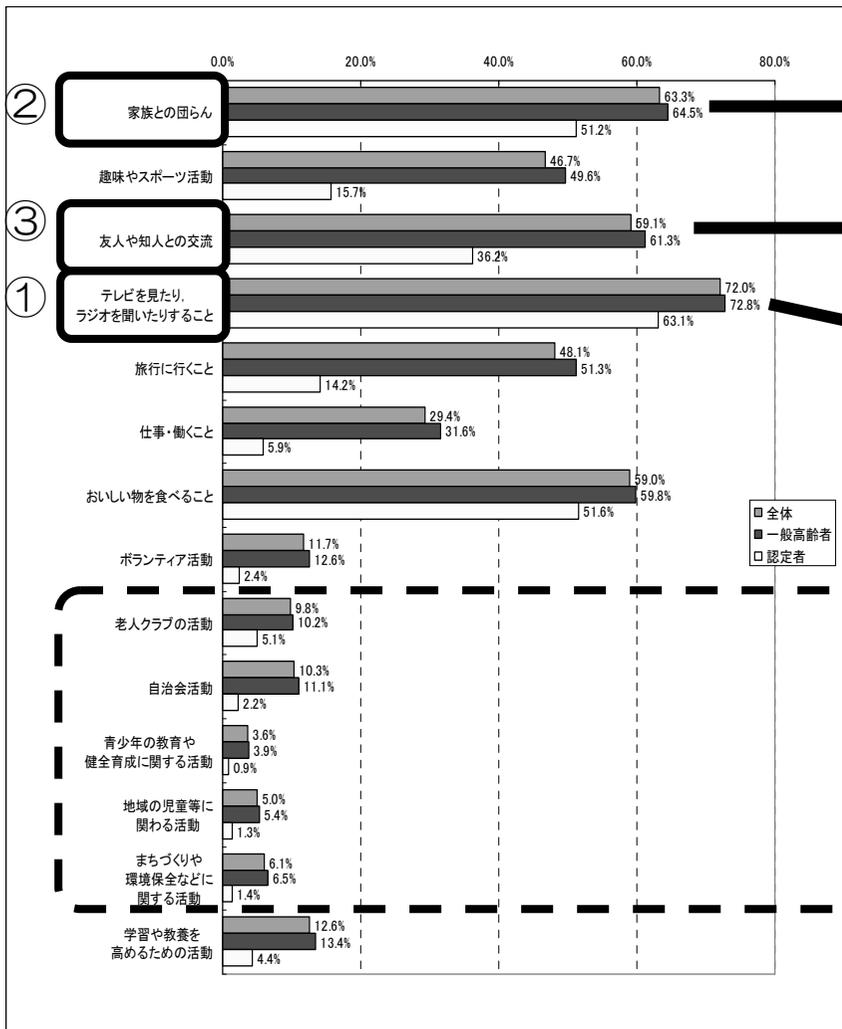
高齢者の生きがいについて国別にみると、我が国の高齢者は「子どもや孫など家族団らんの時」や「友人と食事や雑談する時」、「若い世代と交流している時」等、家族や友人等との交流で生きがいを感じる高齢者は諸外国と比べて少ない。



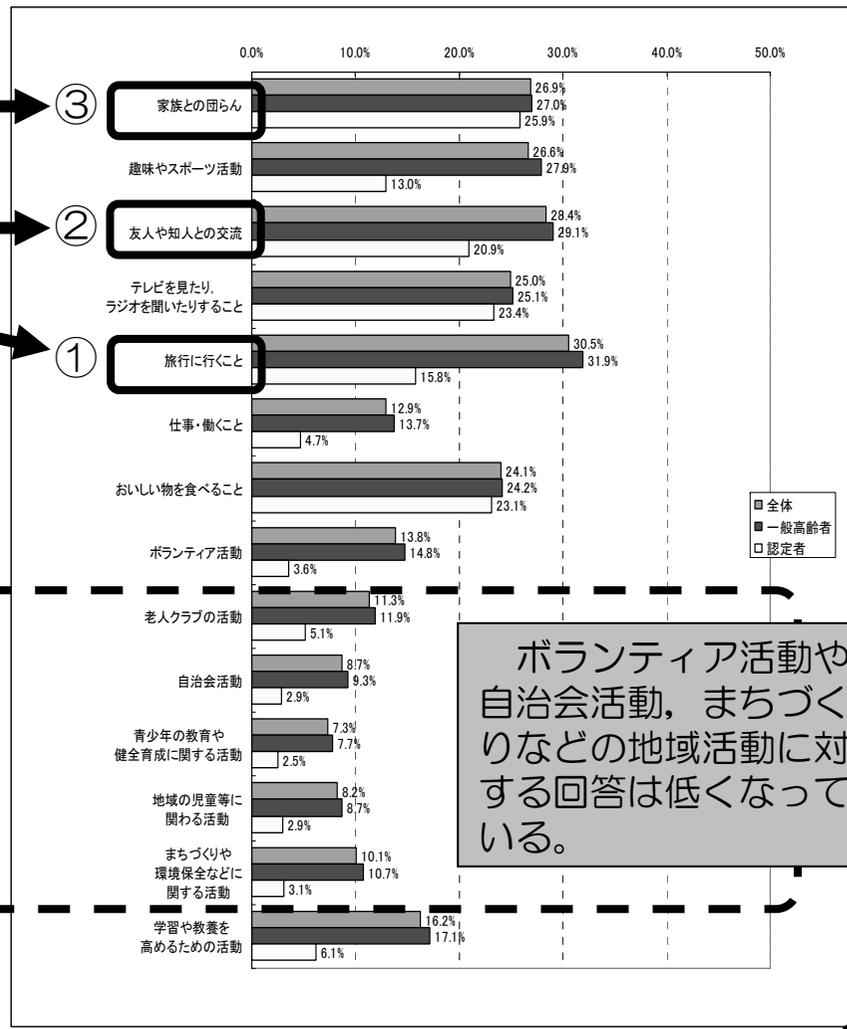
# 1 高齢化の状況

## (16) 高齢者の生きがい②（本市）

○ 現在、生きがいを感じること



○ 今後、生きがいにしたいこと

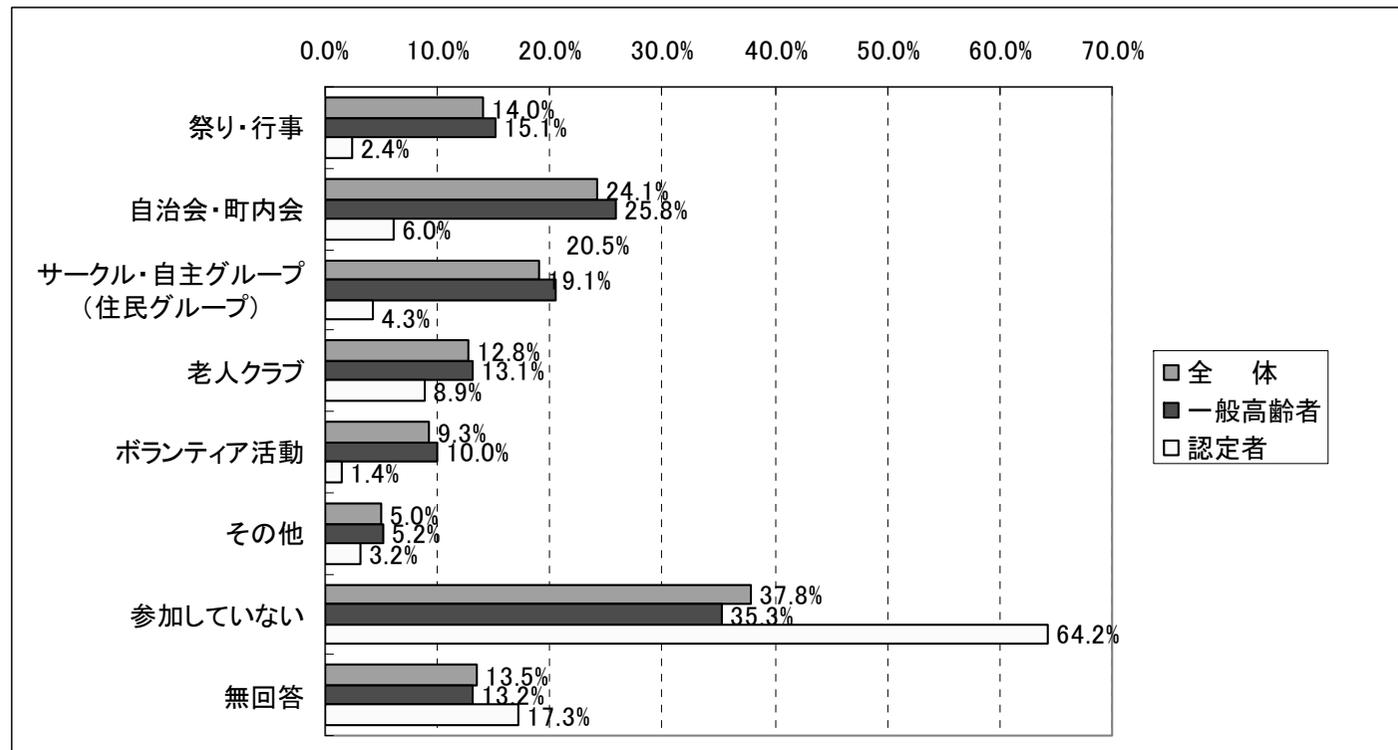


ボランティア活動や自治会活動、まちづくりなどの地域活動に対する回答は低くなっている。

# 1 高齢化の状況

## (17) 参加している地域活動

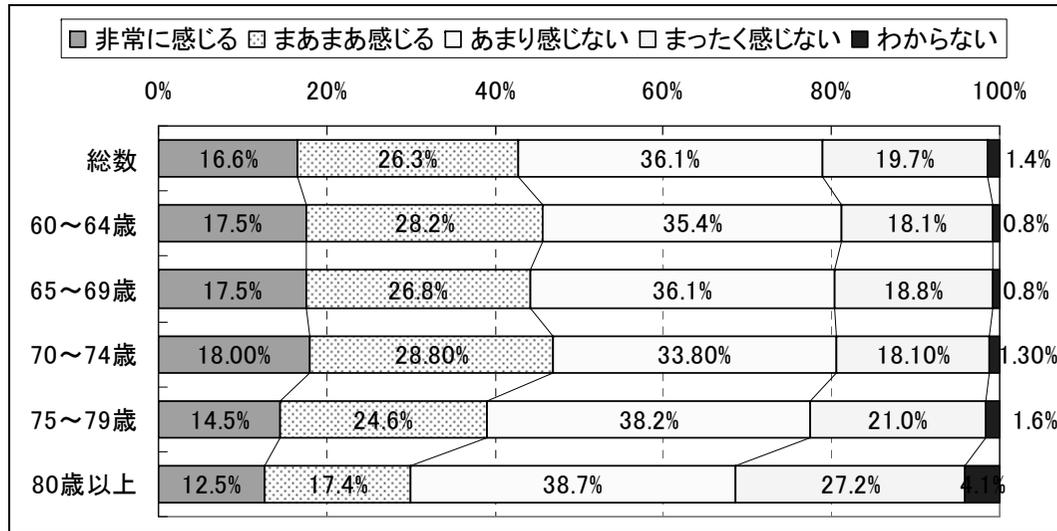
参加している地域活動等について、一般高齢者では、「自治会」(25.8%)、「サークル・自主グループ」(20.5%)との回答が多くなっているのに対し、認定者については、「参加していない」との回答が6割を超える結果となっている。



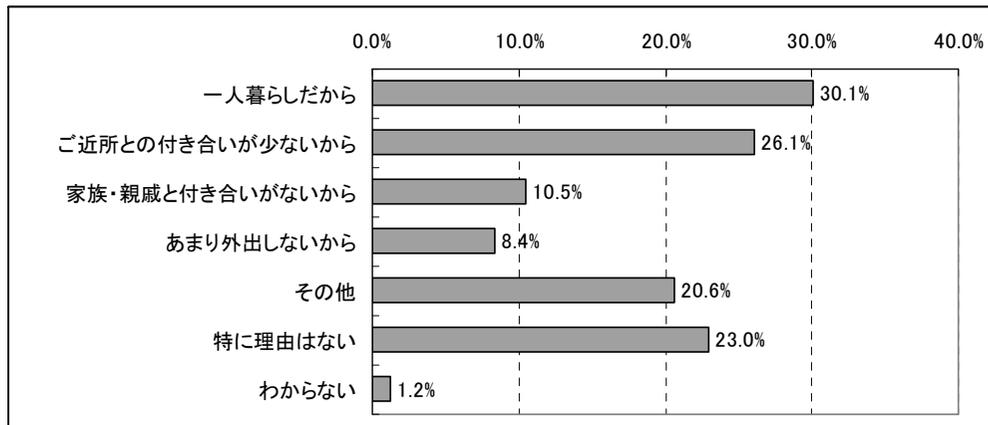
# 1 高齢化の状況

## (18) 孤独死について

### ア 「孤独死について、身近な問題だと感じるか」



### イ 「孤独死を身近な問題に感じる理由」



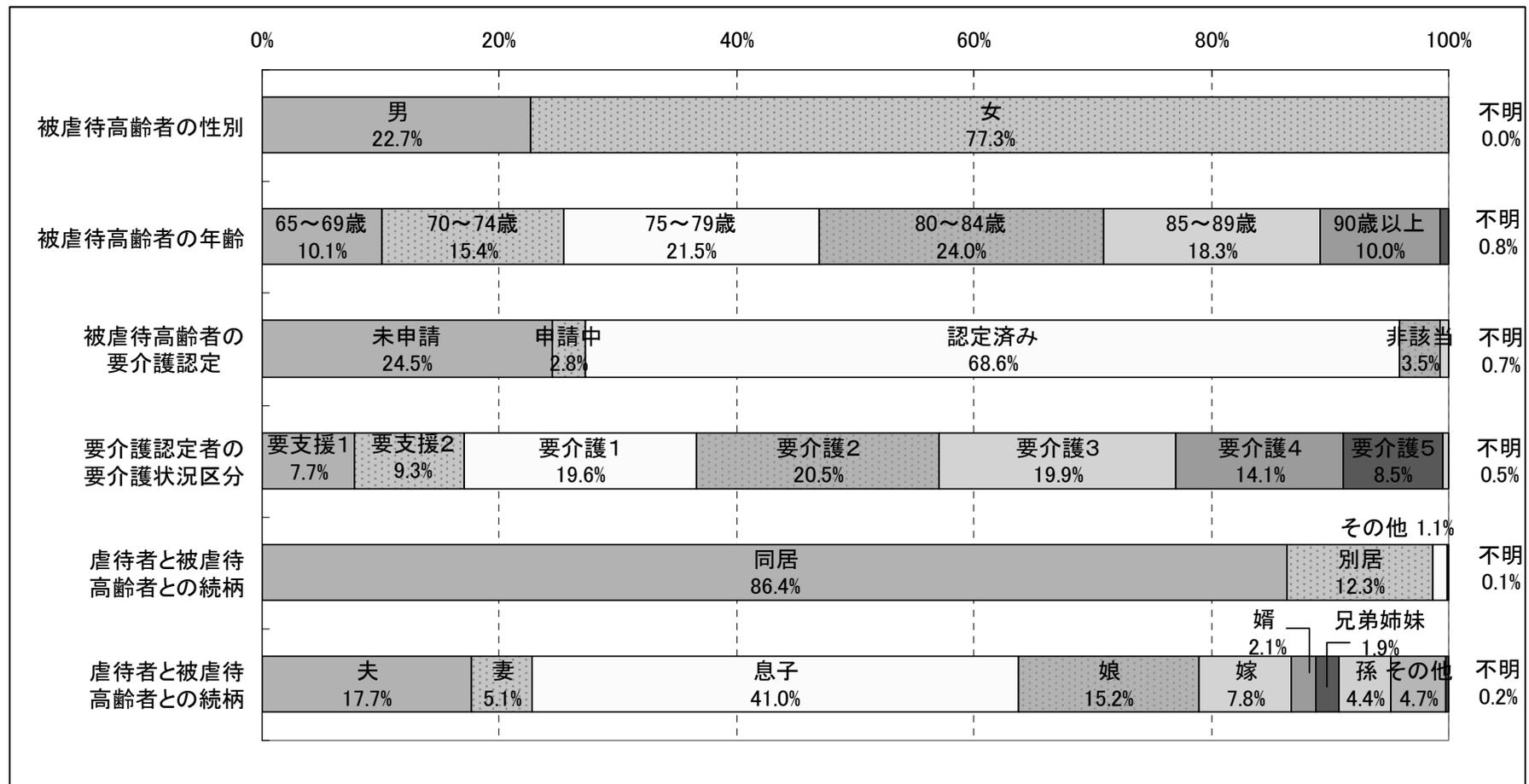
「孤独死(誰にも看取られることなく、亡くなったあとに発見される死)」について、「身近な問題だと感じるか」について尋ねた結果、「非常に感じる」と「まあまあ感じる」の合計は42.9%になっている。

また、孤独死を身近に感じる主な理由としては、「一人暮らしだから」が30.1%と最も高くなっている。

# 1 高齢化の状況

## (19) 高齢者に対する虐待

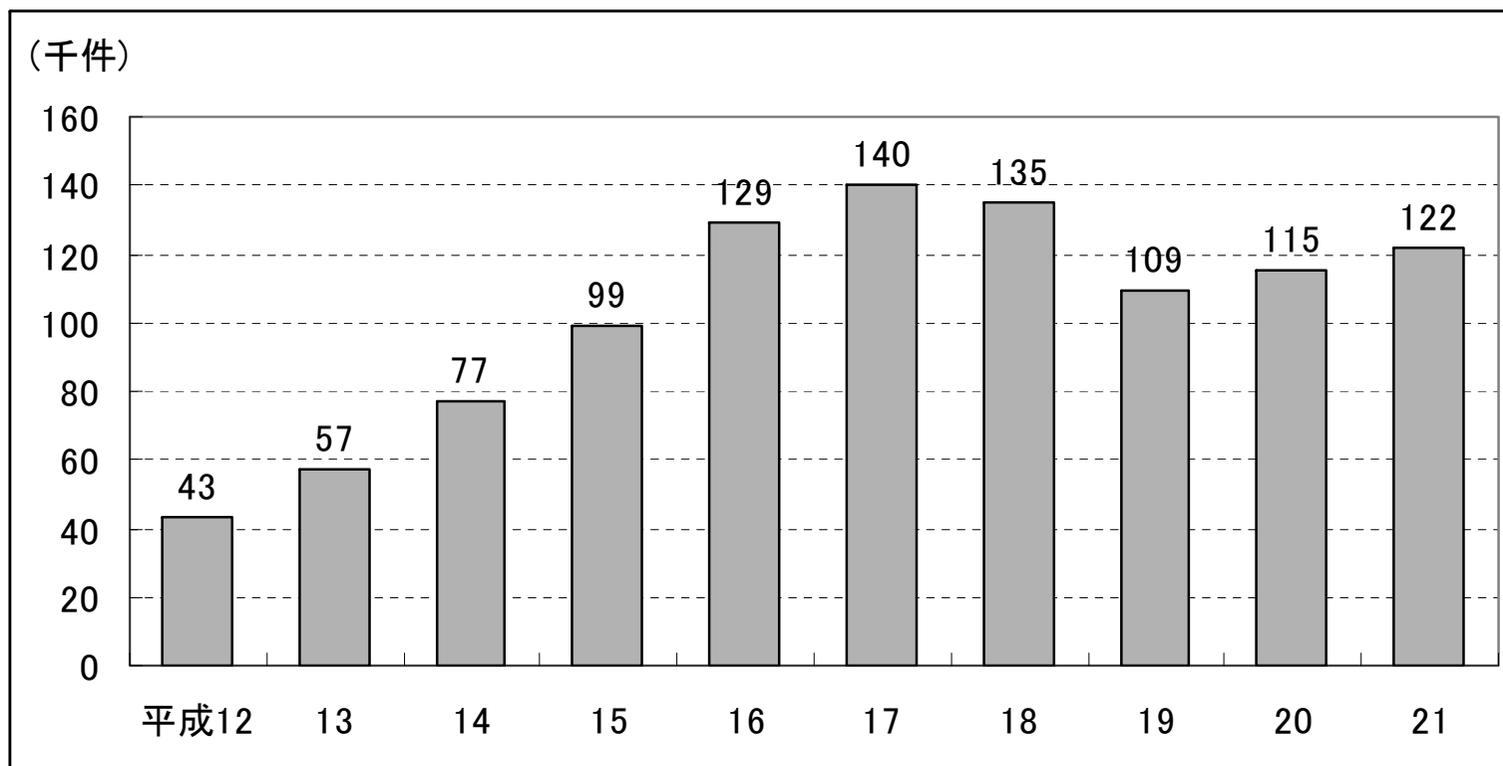
高齢者に対する虐待については、性別で見ると女性が全体の約8割を占めており、年齢階級別では「80～84歳」が24.0%と最も多い。また、虐待を受けている人のうち、約7割が要介護認定を受けている。なお、虐待の加害者は「息子」が41.0%と最も多くなっている。



# 1 高齢化の状況

## (20) 高齢者の消費者被害（契約当事者が70歳以上の消費相談件数）

全国の消費生活センターに寄せられた契約当事者が70歳以上の相談件数は、平成17(2005)年度に139,533件とピークを迎え、その後減少し、近年では横ばい傾向が続いているものの、依然として、10万人を超えている。

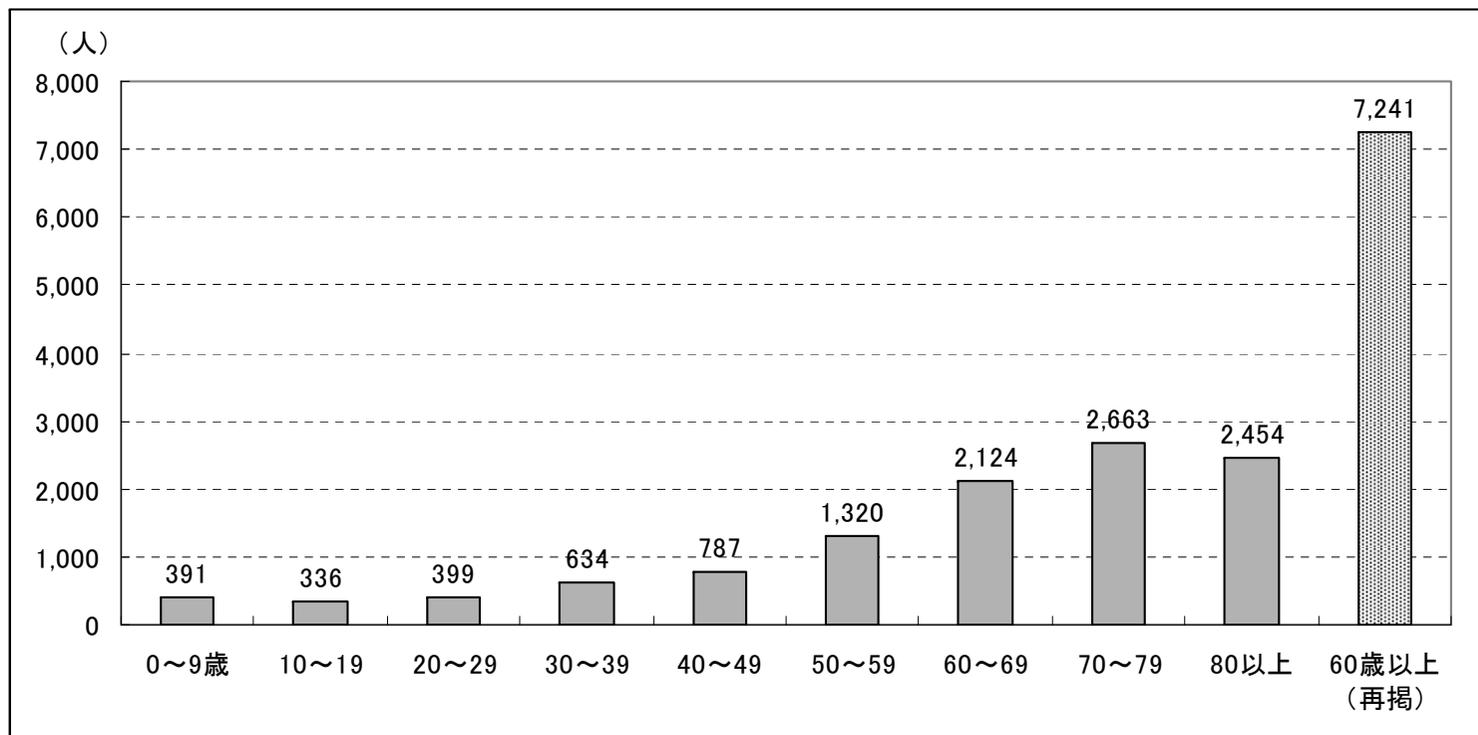


出典：内閣府 平成23年度版高齢社会白書  
\* 資料：国民生活センター資料

# 1 高齢化の状況

## (21) 東日本大震災における高齢者の被害状況

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は「阪神・淡路大震災」を上回る未曾有の被害をもたらした。被害が大きかった岩手県、宮城県、福島県の3県で収容された死亡者は4月11日までに13,154人にのぼり、検視等を終えて年齢が判明している人は11,108人で、そのうち60歳以上の高齢者は7,241人と65.2%を占めている。



出典：警視庁「東北地方太平洋沖地震による死者の死因等について【3/11～4/11】」より

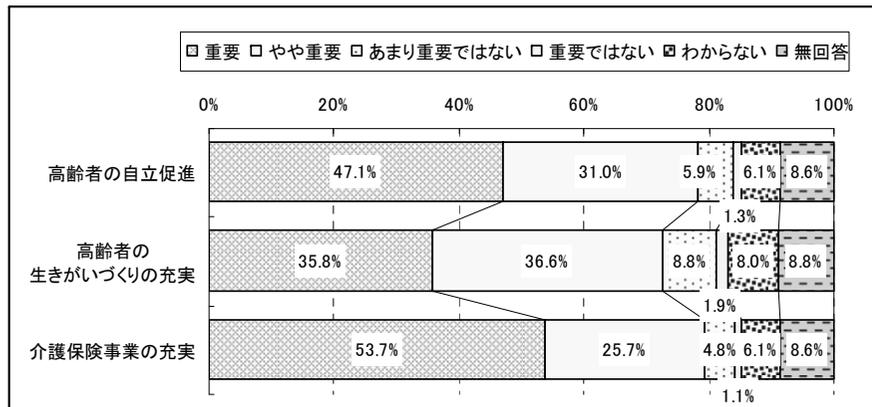
\* 検視等を終えて年齢が判明している者を集計

# 1 高齢化の状況

## (22) 市政（高齢者施策）に対する世論調査結果

### ○ 重要度(高齢期の生活を充実する)

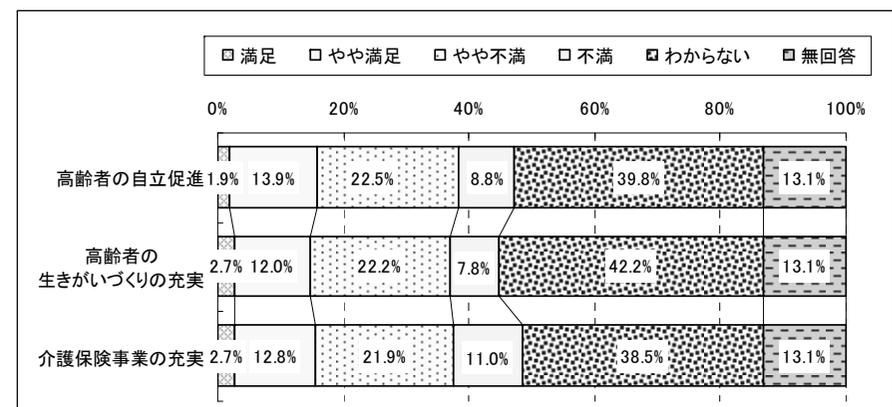
市の取組	n	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答
高齢者の自立促進	374	47.1%	31.0%	5.9%	1.3%	6.1%	8.6%
高齢者の生きがいがづくりの充実	374	35.8%	36.6%	8.8%	1.9%	8.0%	8.8%
介護保険事業の充実	374	53.7%	25.7%	4.8%	1.1%	6.1%	8.6%



重要度については、【重要である(計)】  
がすべての取組で7割を超えている。

### ○ 満足度(高齢期の生活を充実する)

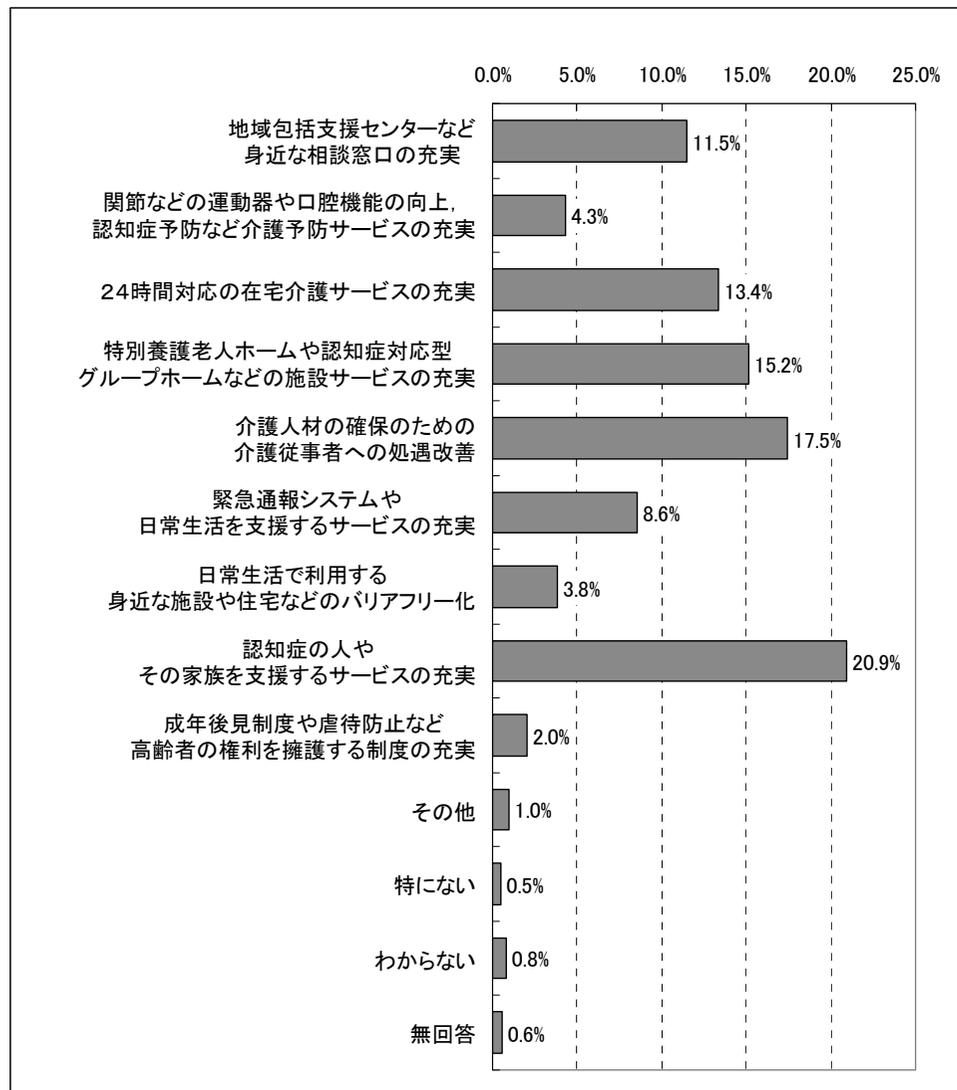
市の取組	n	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
高齢者の自立促進	374	1.9%	13.9%	22.5%	8.8%	39.8%	13.1%
高齢者の生きがいがづくりの充実	374	2.7%	12.0%	22.2%	7.8%	42.2%	13.1%
介護保険事業の充実	374	2.7%	12.8%	21.9%	11.0%	38.5%	13.1%



満足度については、【満足している(計)】  
がすべての取組で1割台と低くなっている。

# 1 高齢化の状況

## (23) 今後、重点を置くべきこと



介護を必要とする高齢者のために、今後、重点を置くべきことについては、「認知症の人やその家族を支援するサービスの充実」（20.9%）との回答が最も多くなっており、次いで「介護人材の確保のための介護従事者への処遇改善」（17.5%）、「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設サービスの充実」（15.2%）の順になっている。

## 2 高齢社会対策の実施の状況 (国・県・市の取組)

## 2 高齢社会対策の実施の状況

### (1) 国の動向

#### ○ 高齢社会対策基本法

国においては、平成7年に「高齢社会対策基本法」を制定し、高齢社会対策を総合的に推進していく上での基本理念や国・地方公共団体の責務などを明らかにしている。

#### ○ 地域福祉の推進

地域住民のつながりを再構築し、支え合う体制を実現するための方策について検討するため、「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」を設置し、平成20年3月に報告書がまとめられている。

#### 「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書」の概要

##### 【地域福祉の意義と役割】

- ・ 地域における「新たな支え合い」（共助）の確立
- ・ 自発的な福祉活動による生活課題への対応
- ・ 住民が主体となり参加する場
- ・ 様々な関係者のネットワークで受け止める

## 2 高齢社会対策の実施の状況

### (1) 国の動向

#### ○ 地域包括システムの構築

平成24年度から始まる第5期介護保険事業計画の計画期間以降を展望し、地域包括ケアシステムのあり方や地域包括ケアシステムを支えるサービス等について具体的な検討を行い、平成22年3月に報告書がまとめられている。

#### 「地域包括ケア研究会報告書」の概要

##### 【基本認識】

地域には、介護保険サービス（共助）だけでなく、医療保険サービス（共助）、住民主体のサービスやボランティア活動（互助）、セルフケアの取組み（自助）等多くの資源が存在するが、これらの資源は未だに断片化している。今後、それらの地域が持つ「自助、互助、共助、公助」の役割分担を踏まえながら、有機的に連動して提供されるようなシステム構築が検討されなければならない。

##### 【地域包括ケアの5つの視点による取組み】（平成23年7月11日国会議資料抜粋）

- ① 医療との連携強化
- ② 介護サービスの充実強化
- ③ 予防の推進
- ④ 見守り、配食、買い物など、多様な生活支援サービスの確保や権利擁護など
- ⑤ 高齢期になっても住み続けることのできる高齢者住まいの整備

## 2 高齢社会対策の実施の状況

### (1) 国の動向

#### ○ 認知症対策について

認知症に関する研究開発，医療，介護，本人や家族に対する支援等の対策について，厚生労働省内の横断的な検討を行うため，「認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト」が設置され，平成20年7月に報告書がまとめられた。

#### 「認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト報告書」の概要

- ・ 実態の把握
- ・ 研究・開発の促進
- ・ 早期診断の推進と適切な医療の提供
- ・ 適切なケアの普及及び本人・家族支援
- ・ 若年性認知症対策

## 2 高齢社会対策の実施の状況

### (1) 国の動向

#### ○ 介護労働力の確保・定着

人材不足が顕在化している介護労働力の確保・定着を図るための方策について検討するため、厚生労働省に「介護労働力の確保・定着等に関する研究会」が設置され、平成20年7月に中間取りまとめが公表された。

「介護労働者の確保・定着等に関する研究会中間取りまとめ」の要点

#### 【基本的な考え方】

介護労働者の需要拡大に伴い、質の高い人材を安定的に確保及び定着・育成させるために、介護分野における人材不足や離職率を改善し、安定的に人材を確保及び育成する仕組みの構築が重要。

#### 【介護労働者の定着・育成に向けた雇用管理改善】

- ・ 雇用管理の必要性・重要性
- ・ 処遇改善とキャリア管理の促進
- ・ 安心・安全・働きやすい労働環境の整備

#### 【介護労働者の確保及びマッチング】

- ・ 教育機関・養成施設等との連携による人材確保
- ・ 潜在的有資格者の掘り起こし
- ・ 多様な人材の参入・参画
- ・ ハローワークを通じた福祉人材確保機能の強化
- ・ 社会的評価の向上

## 2 高齢社会対策の実施の状況

### (1) 国の動向

#### ○ 高齢者医療制度改革

後期高齢者医療制度廃止後の新たな制度の具体的なあり方について検討を進め、新たな制度の具体的なあり方についての検討を行うため、厚生労働大臣の主宰により、高齢者の代表、関係団体の代表、有識者の計19名からなる「高齢者医療制度改革会議」が設置され、平成22年12月に最終とりまとめが公表された。

#### 「高齢者のための新たな医療制度等について（最終とりまとめ）」の要点

##### 1 制度の基本的枠組み，加入関係

後期高齢者医療制度を廃止し，地域保険を国保に一本化 など

##### 2 国保の運営のあり方

国保の構造的課題への総合的な対応 など

##### 3 費用負担

65歳以上の高齢者に係る医療費を国民全体で負担する仕組みづくり など

##### 4 健康づくり，良質で効率的な医療の提供等

都道府県・市町村・保険者等で構成される協議会を設置し，地域の関係機関が一体となって取り組む体制(健康増進・医療費の効率化)の整備 など

## 2 高齢社会対策の実施の状況

### (1) 国の動向

#### ○ 健やか生活習慣国民運動

単なる長寿ではなく、「健康寿命（日常的に介護を必要としないで自立した生活ができる生存期間）」の延伸を図り、「明るく活力ある社会」を構築するため、疾病の発症を予防する「一次予防」に重点を置いた健康づくりのための新たな国民運動

#### 「健やか生活習慣国民運動」の概要

- ・ 死亡原因の約6割，国民医療費の約3割を占める生活習慣病に着目し，日常生活の中での適度な運動，適切な食生活，禁煙を柱とした「健やかな生活習慣」を国民が実感することにより，国民の行動変容を促すことを目的とする。
- ・ 「健やかな生活習慣」が地域・職域に浸透し，国民の生活文化として定着していくことを目指して，国民運動の趣旨に共感し具体的に行動する団体の参画を得て「健やか生活習慣国民運動実行委員会」（仮称）を設置し，産業界とも連携を図る。
- ・ さらに，食育など他の国民運動とも連携しながら，家庭，地域社会，学校，職場など様々な場における生活習慣病予防のための普及啓発及び実践活動を促進する。

## 2 高齢社会対策の実施の状況

### (2) 県の動向

#### ○ 栃木県高齢者支援計画（はつらつプラン21）

平成21年3月，平成21から23年度を計画期間とする「栃木県高齢者支援計画(はつらつプラン21)」を策定し，5つの基本目標（「健康に暮らせる社会」，「生きがいを持てる社会」，「自立して暮らせる社会」，「自分らしく生きられる社会」，「住み慣れた地域で暮らせる社会」）を設定し，このうち，「住み慣れた地域で暮らせる社会（地域ケア体制の推進）」について，あるべき高齢社会を実現するための基本となるものと位置づけている。

#### ○ 栃木県地域ケア体制整備構想

平成20年2月に策定した「栃木県地域ケア体制整備構想」では，関連する三つの計画(栃木県保健医療計画，栃木県医療費適正化計画，栃木県高齢者保健福祉計画)との整合性を図るために策定し，地域ケア体制の将来像として，介護や見守り等が必要な高齢者にとっての望ましい社会の姿（「適切な医療と介護が受けられる社会」，「地域の人々との絆がある社会」，「高齢者が持てる力を発揮できる社会」，「高齢者のライフステージにあった住まいで暮らせる社会」）を位置づけている。

## 2 高齢社会対策の実施の状況

### (3) 本市の取組

#### ○ にっこり安心プラン

(第5次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第4期宇都宮市介護保険事業計画)

平成21年3月、平成21から23年度を計画期間とする「にっこり安心プラン」を策定し、基本理念（健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができる、笑顔あふれる長寿社会）の実現に向け、4つの基本目標（「健康ではつらつとした生活の実現」、「ゆたかで生きがいのある生活の実現」、「安心して自立した生活の実現」、「快適で安全安心な生活の実現」）を設定し、基本理念を実現するため、重点的に取り組むべき施策等をリーディングプロジェクトと定め、三つの施策について重点的に取り組んでいる。

#### 「にっこり安心プラン」リーディングプロジェクトの概要

- ・ 介護予防対策の充実  
介護予防教室の開催、げんき応援教室（総合型プログラム）の開催 など
- ・ 団塊・シニア世代対策の推進  
みやシニア活動センター事業の推進
- ・ 認知症高齢者対策の推進  
「まちぐるみで認知症ケア」宇都宮市の認知症高齢者等対策の策定 など

### 3 本市の高齢者人口等の見込

### 3 本市の高齢者人口等の見込

○総人口・高齢者人口及び要介護(要支援)認定者数の見込

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
総人口	510,857人	511,298人	511,739人	512,179人
高齢者人口 (高齢化率)	104,725人 (20.5%)	108,814人 (21.3%)	112,904人 (22.1%)	116,994人 (22.8%)
65歳～74歳 〔高齢者人口に 占める割合〕	57,004人 (54.4%)	59,381人 (54.6%)	61,760人 (54.7%)	64,138人 (54.8%)
75歳以上 〔高齢者人口に 占める割合〕	47,721人 (45.6%)	49,433人 (45.4%)	51,144人 (45.3%)	52,856人 (45.2%)
要介護(要支援) 認定者数 (認定率)	15,258人 (14.6%)	15,898人 (14.6%)	16,538人 (14.6%)	17,179人 (14.7%)

出典：総人口・高齢者人口…宇都宮市中期財政計画策定時の推計値

要介護(要支援)認定者数…栃木県作成「第5期介護保険事業計画策定認定率等推計ワークシート」